



# うちどく(家読)のすすめ No.2

リターンズ

市内の全小・中学校へ配布したうちどく用紙は、うちどくが実践され各学校を通じて、図書館に提出されています。あるご家族のうちどくをご紹介します。

読んだ本 『となりのせきのますだくん』（作者：武田 美穂 出版社：ポプラ社）

読んだ人 自分(小1)

みほちゃんは、ますだくに毎日いじめられて、とてもかわいそうだなとおもいました。みほちゃんは、ドキドキしながらいくということは、ほんとうにこわい人ですね。

読んだ人 お姉さん

みほちゃんは、ますだくに毎日いじめられて、かわいそうだなと思いました。最後、ますだくんにあやまられてよかったなあと思いました。

読んだ人 お母さん

ますだくんが「ごめんよ」といって、えんぴつをわたすところに、かんどうしました。ますだくんにもやさしい気持ちがあるんですね。



読んだ人 お父さん

「好きなのにいじわるをする」という男の子の習性で傷つく、女の子の繊細な心の様子をわかりやすく描いていて、男の子には、是非とも読んでもらいたい必読書です。

## うちどくにチャレンジした感想

また、ちがう本で、うちどくをしたいです！

**うちどく(家読)とは？** 家族みんなで同じ本を読み、読んだ本について話をする事です。難しいルールは要りません。家族で同じ本を読みコミュニケーションを図ることで、家族の絆を強くしようという、新しい読書スタイルです。

～図書館から、ノーテレビ・ノーゲームの「家族みんなで読書タイム」をおすすめします～